

大黒第二冷凍物流センター2号棟竣工およびCO₂排出量削減への取り組み



大黒第二冷凍物流センター2号棟

平成20年5月に着工しました大黒第二冷凍物流センター増築工事（収容能力2万4744トンの冷蔵倉庫棟新設工事）が、平成21年8月末に無事竣工し、9月17日に同センター内で竣工披露パーティが盛大に挙行されました。

新冷蔵倉庫棟は「大黒第二冷凍物流センター2号棟」と命名され、竣工披露パーティ後、本格的な稼働を開始しました。

この2号棟は、多目的な利用が可能な大型解凍室と衛生的な検品室を3室設置し、保管する冷凍・冷蔵食品の品質保持と安全性に十分配慮しているほか、冷凍機には自然冷媒を利用した前川製作所の「NewTon3000」

を採用し、環境にも配慮した最新設備・構造となっています。本冷凍機の採用により、従来のフロン利用冷凍機に比べ、年間512.9トンのCO₂排出量削減効果が見込まれています。



NewTon3000



NewTon3000 内部

こうした自然冷媒冷凍機採用によるCO₂排出量削減の取り組みが評価され、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の交付を受けることが決定しています。